

“暮らしの静脈”を大切に

9月10日は全国下水道促進デー

炊事・洗面・洗たく・風呂・トイレ——わたしたちの暮らしに1日たりとも欠かせない水。

わたしたちは、毎日、いろいろな用途に水を使いますが、その使った水の後始末をするのが下水道です。

下水道は、汚水を直接川や海に流さず、カやハエの発生しない環境を作り、衛生的で快適な暮らしを支えるために、なくてはならない施設です。

下水道建設促進を

現在、市内の下水道は、吉原地区の一部と富士見台団地が処理区域で、市のごく一部にすぎません。

市は、遅れている下水道の促進を図るため、富士地区に約5万人分の処理能力をもつ処理場を建設中で、55年4月に完成する予定です。

また、現在稼動中の吉原処理場は、処理能力24,000人で、能力的に限界にきており、新しい処理場の建設を計画中です。

市の下水道は、汚水だけを処理する「分流式」とい雨水を流すことはできません。

雨水は、必ず側溝か河川に流してください。また、野菜くずや土砂等は、汚水の流通を阻害しますので、流さないでください。



歩道の不法占用

〔こえ〕 本町を通るたびに感じることですが、どうして商店の人たち（八百屋など）は、歩行者の迷惑も考えないで、商品を歩道に並べるのでですか、あれ程車両の取り締りをして

いるのに……。

商店主の取り締りはできないのですか。 (横割 Kさん)

〔こたえ〕 年に何回か実施する看板撤去の時、併せて道路不法占用についての街頭指導も行っています。本町通りについても、その都度指導しておりますが、今後さらにそのような場所については指導を強化していくきます。 (建設部管理課)

グループ訪問⑥

ねらいをさだめてカチーン

大渕老人会ゲートボール部

おじいちゃん、おばあちゃんがにこにこして手にはお弁当をもってゲートボール場へ集まってくる。

聞いてみると「嫁がつくってくれたんですよ、この日がまちどおしくてね」と部長の宮川さん。

大渕地区のゲートボールは非常に盛んである。会員が170名ぐらい、月3回の合同練習には、常時80人ぐらい参加している。これ以外にも各町内ごとで毎週練習しているところもあるようです。

「みんなが集まりゲートボールを楽しみ、話しをす



る。その中から仲間意識ができ顔見知りになった。」

「練習日がまちどおしくて普段の仕事にも張りがで、健康管理にも役立ちます。」

「これからは、他流試合もやりたいな」と話す会員の顔は、小麦色に光っていました。